

平成27年8月28日

報道関係各位

総合政策学部公開講座「滝沢の今昔を知り未来を考える」第4回

—縄文時代の豊かな里山文化—

岩手県立大学総合政策学部では、公開講座「滝沢の今昔を知り未来を考える—縄文時代の豊かな里山文化—」を9月19日(土)に開催いたします。

滝沢市にはストーンサークルや住居跡をはじめとして、県内で最も多くの縄文遺跡があります。今回の講座では最新の研究成果から明らかになった東北地方の縄文文化と環境との関係などを学ぶとともに、現代の生活のあり方を見直し、未来について考えます。

興味のある方に広く参加いただきたく、事前の周知についてよろしくお願ひいたします。

また、当日の取材・報道についても併せてお願ひ申し上げます。

記

1. 日 時 : 2015年9月19日(土) 13:30~16:30
2. 場 所 : 岩手県立大学 講堂
3. 参加料等 : 参加費無料・事前申し込み不要
4. 講演者等 :
 - ① 北東北に花開いた豊かな縄文文化 (仮題) 御所野縄文博物館 館長 高田 和徳 氏
 - ② 縄文時代の環境と植物の利用 —何を使い、食べてきたか—
パレオ・ラボ 統括部長 佐々木 由香 氏
 - ③ 滝沢市における外来種オオハンゴンソウの分布と駆除について (中間報告)
岩手県立大学総合政策学部 教授 渋谷 晃太郎
(進行 : 岩手県立大学総合政策学部 教授 平塚 明)
5. 主催・後援 : 岩手県立大学総合政策学部主催、滝沢市・滝沢市教育委員会後援予定

※テーマや講演者等について、詳しくは裏面のチラシをご覧ください

【問合せ先】 岩手県立大学総合政策学部 教授 渋谷 晃太郎

Email : kshibuya@iwate-pu.ac.jp Tel : 019-694-2746 Fax : 019-694-2747

縄文時代の豊かな里山文化

滝沢の今昔を知り未来を考える
第4回岩手県立大学総合政策学部公開講座

北海道から東北北部に広がっていた豊かな縄文文化は、世界遺産の登録を目指しています。構成資産の一つである御所野遺跡では、竪穴住居が土屋根であったという発見がありました。岩手山麓にも縄文時代から人々が生活し、里山景観が作られてきたと考えられています。滝沢市にはストーンサークル、住居跡、落とし穴など、県内で最も多くの遺跡があります。新しく開発された科学技術によって遺跡や出土品を分析することから、縄文時代の人々の生活や自然環境が精密に再現できるようになってきました。

今回の講座では、最新の研究成果から明らかになった東北地方の縄文文化と環境との関係、縄文人の暮らしを学ぶことにより、現代の生活のあり方を見直し、未来について考えます。

日時：2015年9月19日（土）
午後 1時半～4時半
場所：岩手県立大学 講堂
入場無料 当日受付



講座の内容

- **北東北に花開いた豊かな縄文文化（仮）**
御所野縄文博物館館長 高田 和徳 氏
 - **縄文時代の環境と植物の利用**
— 何を使い、食べてきたか —
パレオ・ラボ統括部長 佐々木 由香 氏
 - **外来種オオハンゴンソウの分布と駆除について（報告）**
岩手県立大学総合政策学部 教授 渋谷 晃太郎
- ※ 進行：岩手県立大学総合政策学部 教授 平塚 明

主催 岩手県立大学総合政策学部 後援 滝沢市(予定) 滝沢市教育委員会(予定)

問合せ先：岩手県立大学総合政策学部 019-694-2746